

<福島市：ノーマイカーデー登録制度>

施策名	ノーマイカーデー登録制度
取り組みの背景 地域の交通環境問題 行政・市民ニーズ 交通基盤シーズ など	背景 1： モータリゼーションの進行による自動車の増加 朝夕の中心市街地への自動車の集中 中心市街地への流入部で河川、山、鉄道などで分断 特に朝夕のピーク時の交通渋滞の発生 背景 2：平成 9 年 2 月 1 4 日に、行政機関（国・県・市）と交通事業者（バス・鉄道） 道路を利用する市民の代表者で福島都市圏における交通の現状の把握や、地域における交通需要マネジメント施策を調査・研究するため「福島都市圏交通需要マネジメント研究会（略：TDM研究会）」を発足。 背景 3：交通需要マネジメント社会実験・アンケートなど実施
目的・ねらい 目的・ねらい 対象交通 など	●目的・ねらい： 交通需要マネジメント施策として交通渋滞の緩和・環境負荷の低減・省エネルギー・個人の新たなライフスタイルの展開 中心市街地活性化 ●対象交通：クルマ通勤の抑制
取り組みの経緯 経緯・熟度 など	平成 11 年 7 月から、毎月 1 日を公共交通、徒歩、自転車の利用による通勤を呼びかける「ノーマイカーデー」に設定し参加をお願いしてきたが、2 年間実施し、参加状況がピーク時の 2 / 3 まで落ち込み、新たなノーマイカーデーの展開として、参加者に対するインセンティブを取り入れてはどうかという考えで、福島商工会議所を通じて市内飲食店へ提案。福島社交飲食業組合の積極的な協力を得て、当初 5 4 飲食店でノーマイカーデー優待サービスが提供される、ノーマイカーデー登録制度を実施。
主体・広報・費用 実施主体 検討組織 広報スケジュール 費用負担 など	●実施主体：福島都市圏交通需要マネジメント研究会 事務局：福島市交通政策課（機構改革により以前は企画調整課） 福島河川国道事務所調査第二課（以前は福島工事事務所） URL http://www.inf.fukushima.fukushima.jp/ftdm/ ●検討組織：福島都市圏交通需要マネジメント研究会、福島商工会議所、福島社交飲食業組合 ●広報：3 ヶ月に一度、ノーマイカーデー協賛事業所お得ガイド発行。 ●費用負担：広報・・・TDM研究会 ノーマイカーデー優待サービスの提供・・・協賛事業所負担

実施概要	●対象地域：福島市内 ●実施日時：平成13年10月1日から毎月1日（1日が土日祝日の場合は翌月曜日。1月は除く）の通勤時 ●施策内容：毎月1回、車を使わない通勤日を設定し、参加をお願いしている。その際、参加者に対するインセンティブを役割分担したなかで行っている。
対象地域 実施日時 施策内容 など	【参加事業所】マイカー通勤者のなかで実施日にマイカー以外で通勤ができる方に、公共交通や自転車・徒歩・車の相乗りによる通勤に切換を呼びかけ、参加する。（呼びかけ先約250事業所） 【協賛事業所】実施日に優遇サービスの提供を行う。（現在57飲食店協賛。100円バスの実施） 【TDM研究会】参加事業所と協賛事業所との結びつき・PR面を担当。3ヶ月に1度ノーマイカーデー実施のお知らせやTDM施策の情報をチラシとして発送。ホームページによる情報提供実施。
効果測定内容	●効果測定内容：参加事業所からの参加者数の報告 協賛事業所に対するアンケート実施
測定内容 効果把握 など	●効果把握結果：参加状況…減少傾向 アンケート…ノーマイカーデーを通じたメリットを感じている事業所は2割強
取組上の課題	課題1：ノーマイカーデーへの参加面
合意形成 費用負担 など	・参加事業所（企業・官公庁等）の拡大が必要。 ・ノーマイカーデーを通じたTDM施策・環境・エネルギー施策の必要性の認識を高める取り組み必要。 課題2：ノーマイカーデーへの協賛面 ・今後、ノーマイカーデーに参加しやすい環境を高めていく上で、飲食店以外の業種等の拡大も必要。 課題3：参加側と協賛側の結びつき面 ・参加側と協賛側が直接結びつくような動きが望ましいと考え、支援していきたい。 課題4：市民の意識の高揚面 ・ノーマイカーデーについて意識を高揚していく上で、よりPRが必要。
その他特記事項	・公共交通機関の利便性が低い事業所については、実質参加しにくい状況であるため、公共交通機関の利便性のよい企業等へ参加を促していきたい。
今後の方向性 地域指定 等	・町会等地域でのノーマイカーデーの取り組みを呼びかけているが、今後、行政側として支援のあり方を検討しながら参加を募っていく必要がある。

都道府県市名 : 福島県福島市
 担当部局名 : 都市政策部 交通政策課